

【研究ノート】

コーパスを利用したオノマトペの
コロケーション考察

—— 「すっきり」の意味用法を中心に ——

曹 金 波

研究ノート

コーパスを利用したオノマトペのコロケーション考察 ——「すっきり」の意味用法を中心に——

曹 金 波

目次

- I. はじめに
- II. 問題提起
- III. オノマトペのコロケーション研究
- IV. 調査結果の詳細
- V. 考察
- VI. おわりに

I. はじめに

オノマトペとは、一体なんであろう。田守(2002)では次のように述べている。

オノマトペは、フランス語の *onomatopée* から借用した外来語であり、英語では *onomatopoeia* という。いずれも「命名する」というギリシャ語 *onomatopoiia* (*onoma* 'name'+*poiein* 'to make') に由来する。オックスフォード英語辞典によると、英語の *onomatopoeia* は、「音の模倣によって物事や動作を命名したり、それによってことばをつくったりすること」、あるいは「このような方法」によってつくられたことば」と定義されている。

この定義からすると、オノマトペは、動物の鳴き声や人間の声を模写してつくられた「わんわん(鳴く)」や「けらけら(笑う)」といった擬声語と、自然界の物音を真似てつくられた「どんどん(戸を叩く)」や「ごろごろ(雷が鳴る)」といった擬音語などを指すように思われる。しかし、音響とは直接関

係しない「べとべと(くつつく)」「にこにこ(笑う)」「ずきずき(痛む)」「むかむか(する)」といった事物の状態・動作・痛みの感覚・人間の心理状態などを象徴的に表した擬態語も含めて考えるのが普通である。

オノマトペは日本人にとってごく自然な言葉で、この種の言葉に頼らずには、日常会話そのものが成り立たない。しかし、中国人学習者にとってはこの繊細で細かい感情を表現するオノマトペの学習は難題の一つであると言っても過言ではない。

中国大連では日本語教育がかなり盛んであるとはいえ、オノマトペの教育に関してはまだまだ力を入れるべきだと言わざるを得ない。学習者のための語彙の選定や統語上の特徴や意味の理解などが問題視すべきところはまだまだたくさんある。統語上の特徴といえば、大きく二つの問題を抱えている。一つはオノマトペの後続省略の認知メカニズムと復元方法である。これについては曹(2009, 2010, 2011)において、主に「AっBり」型と「ABAB」型をめぐって検討したことがある。もう一つはオノマトペのコロケーションの採集と意味分析である。本稿はこの問題を扱うための第一歩として、中国人学習者が初級の段階で習得した「すっきり」という言葉から検討を始めた。この言葉は意味が少なく、よく中国人に使われる組み合わせがある。それは「すっきりする!」「すっきりした。」という「する」との共起である。しかし、この言葉には中級

キーワード：オノマトペ，コロケーション，すっきり，意味，共起

レベル以上の学習者にも馴染まない用法がある。本稿はオノマトペのコロケーションをコーパス⁽¹⁾からのデータを用いて分析する。考察に当たっては擬態語「すっきり」を対象にしてコーパスによる動詞・助詞・形状詞などとの共起情報を中心に分析を行う。

II. 問題提起

日本語には音や声、人の気持ちや様子などを表すオノマトペが韓国語について2番目に多い。そのうち、「AっBり」型が一体どのくらいあるか、次の文献から見てみよう。

文献1：『暮らしのことは擬音・擬態語辞典』（以下は『暮らしの言葉』、山口仲美、講談社、2003）

文献2：『分類語彙表 増補改訂版』（国立国語研究所編集、2004）

文献3：『現代雑誌200万字言語調査語彙表』（国立国語研究所編集、2006）

文献1に収録された「AっBり」型オノマトペ（計128語）：

あっさり／うっかり／うっすり／うっとり／おっとり／がっかり／かっきり／かっくり／がっくり／がっしり／がったり／かっちり／がっちり／がっぷり／がっぼり／きっかり／ぎっくり／きっしり／ぎっしり／きっちり／ぎっちり／ぎっとり／きっぱり／くっきり／ぐっしやり／ぐっさり／ぐっしより／ぐっすり／ぐったり／げっそり／こっくり／ごっくり／こっそり／ごっそり／こってり／ごってり／ごっとり／ごっぼり／さっくり／ざっくり／さっぱり／しっかり／しっくり／じっくり／しっこり／しっとり／じっとり／しっぼり／しゃっきり／すっかり／すっきり／すっくり／ずっしり／すっぼり／ずっぶり／すっぼり／そっくり／たっぶり／ちゃっかり／ちよっさり／ちよっこり／ちよっぴり／でっぶり／どっかり／どっさり／とっくり／

どっさり／どっしり／とっぶり／どっぶり／にっこり／によっきり／ねっちり／ねっとり／のっそり／のったり／のっぺり／ぱっかり／はっきり／ぱっくり／ぱっさり／ぱったり／ぱったり／ぱっちり／ぱっちり／びっくり／びっしり／びっしり／ひっそり／びったり／びったり／びっちり／びっちり／ひょっくり／ひょっこり／ふっくり／ぶっくり／ふつつり／ぶつつり／ぶつつり／べったり／べったり／べっとり／ほっかり／ほっかり／ほっかり／ほっきり／ほっくり／ほっこり／ほっそり／ほったり／ほったり／ほっちり／ほっちり／ほっつり／ほってり／ほってり／まったり／みっしり／みっちり／むっくり／むっちり／むつつり／めっきり／もっさり／ゆっくり／ゆっさり／ゆったり／

文献2に収録された「AっBり」型オノマトペ（計99語）：

あっさり／うっかり／うっとり／がっかり／かっきり／がっくり／がっしり／かっちり／がっちり／がっぷり／がっぼり／きっかり／ぎっくり／ぎっしり／きっちり／きっぱり／くっきり／ぐっすり／ぐっしより／ぐったり／げっそり／こっくり／こっそり／ごっそり／こってり／さっくり／ざっくり／さっぱり／しっかり／しっくり／じっくり／しゃっきり／しっとり／じっとり／しっぼり／すっかり／すっきり／ずっしり／すっぼり／すっぼり／ずっぶり／そっくり／ちゃっかり／ちよっさり／ちよっこり／ちよっぴり／でっぶり／どっかり／とっくり／どっさり／どっさり／どっしり／とっぶり／どっぶり／にっこり／によっきり／ねっちり／ねっとり／のっそり／はっきり／ぱっくり／ぱっさり／ぱったり／ぱっちり／びっちり／ぱったり／ぱっちり／びっくり／びっしり／びっしり／びっしり／びっしり／ひょっくり／ひょっこり／びよっこり／ふっくり／ふつつり／ぶつつり／べったり／べったり／べつと

り／ぽっかり／ぽっきり／ぽっくり／ほっこり／ほっそり／ほったり／ほっちり／ほっちゃり／ほってり／みっしり／みっちり／むっくり／むっちり／むつつり／めっきり／もっさり／ゆっくり／ゆったり

文献3に収録された「AっBり」型オノマトベ (計65語) :

アッサリ／うっかり／うっとり／おっとり／がっかり／がっくり／がっしり／かっちり／がっちり／きっかり／ぎっくり／ぎっしり／きっぱり／くっきり／ぐっすり／ぐったり／こっそり／こってり／さっくり／ざっくり／さっぱり／しっくり／じっくり／しっとり／しゃっきり／すっかり／すっきり／ずっしり／すっぱり／すっぱり／たっぷり／ちょっぴり／でっちり／どっさり／どっしり／とっぷり／どっぷり／にっこり／ぬったり／のっぺり／はっきり／ぼっさり／はったり／ぼったり／ぼっちり／ぼっちり／びっくり／びっしょり／びっしり／ひっそり／びったり／びっちり／ひょっこり／べったり／ぽっかり／ぽっきり／ほっこり／ほっこり／ほっそり／ほっちゃり／ほってり／みっちり／めっきり／ゆっくり／ゆったり

文献1, 2, 3にはみな「すっきり」が収録されている。そして、文献3において、「すっきり」は使用頻度が68で、「シッカリ」(135)、「タップリ」(92)と「はっきり」(73)について、4番目である。この高度使用されている「すっきり」は中国人学習者の教科書ではどうなっているのか、それを知るために、大連外国語大学の日本語専攻の1年生から4年生までの11冊の日本語の教科書から「AっBり」型オノマトベを34語抽出した。詳しくは下記のとおりである。

あっさり／うっかり／うっとり／おっとり／がっかり／がっしり／きっちり／くっきり

／ぐっすり／ぐったり／こっそり／さっぱり／しっかり／じっくり／すっかり／すっきり／そっくり／どっしり／たっぷり／ちゃっかり／ちょっぴり／にっこり／はっきり／ぼっちり／ひっくり／びっくり／びっしり／びったり／ふっくり／ぽっかり／むつつり／やっぱり／ゆっくり／ゆったり

この「すっきり」は二年生⁽²⁾後期用のヒヤリングテキスト(『中級日本語聴力教程』下冊)に現れたのである。そして、その文が次のようになっている。

フレッシュホワイトがますますパワーアップして新登場。食器の油汚れからシンクまで、すっきり洗える洗浄力なんです。魔法みたいにピッカ、ピカ。

この文に対して、意味理解には難しくなかったが、翻訳するとみな「すっきり洗える」と同じ意味の中国語に訳した。それを三年生に訳させるとやはり同じ結果である。そこで、疑問は、「すっきり」はいったい何用法であるか、「様態副詞」⁽³⁾か「程度副詞」か、それとも両方の用法もあるのか、ということである。そのため、四冊の辞書を調べてみると、意味記述が下記のようにになっている。

辞書1:『暮らしの言葉 擬音語・擬態語辞典』では、

意味1は「無駄がなく洗練されている様子」

意味2は「顔立ちや姿が引き締まっていて、見た目がよい様子。」

意味3は「疲労や怠さなどの体調不良や悩みなどが取れて、気分的につかえるものがない快い様子。」

意味4は「あいまいな部分がなく、明確な様子。」

辞書2:『擬音語・擬態語使い方辞典:正

しい意味と用法がすぐわかる』では、
意味 1 は「むだなもの、余分なものがなく、
際立ってさわやかであるようす。」

辞書 3：『現代擬音語擬態語用法辞典』（以下『現代』）では、

①胃薬を飲んだらげっぶがすっきりした。

②熱いシャワーを浴びると頭がすっきりする。

というなどの例文を取り上げて、「すっきり」が他のオノマトペとの違いを説明した。「すっきり」は「さっぱり」や「あっさり」に似ているが、「さっぱり」は執着がなくて爽快である様子を表し、清涼感・快感の暗示がある。「あっさり」は淡泊である暗示がある。

辞書 4：『日本語オノマトペ辞典』では、

意味 1 は「言動、気持ち、態度に過不足がなく、快いさま。洗練されていて、見ていて気分のよいさま。」

意味 2 は「気分が晴れるさま。」

意味 3 は「(古) 物事のすべてにわたって、少しも残るところのないさま。すっきり。」

意味 4 は「(古) その事すべてにわたって否定するさま。まったく。さっぱり。」

辞書 1, 2, 3 の意味解釈をどう見ても「すっきり洗える」には当てはまらない。そこでさらに、辞書 1 の「参考」を読むと、

「すっきり」はもともと「すき」という形であった。現代には見られない意味で、少しも残るところのないさま、すっきり、まったくの意味。

この解釈に従って、「すっきり洗える」は「すっきり洗える」というように説明すると、理解しやすくなる。そして、辞書 4 の意味 3 にも当てはまる。しかし、辞書 1 も辞書 4 も普通にこの意味解釈をしていないところが注目すべきところである。辞書 1 は「参考」に「すっきり」などの意味解釈を取り上げたのに対して、辞書 4 は意味 3 と意味 4 に分け、それぞれ「古」という字を最初に入れてある。それに、意味 3 と意味 4 の用例として、

「なふすっきりわしが聞きました。みな嶋八さまのがお道理じゃ」

(浄瑠璃—冥途の飛脚・近松門左衛門)

「年季の三太すっきりと合点せず」

(浄瑠璃—心中重井筒)

というように挙げられている。二つの用例とも古典芸能の台詞で、古いお言葉だと言わざるを得ない。

以上で明らかのように、辞書から「すっきり洗える」を説明するための現代用法が見あたらなかったということになる。一体、「すっきり」は現代において、意味がもうすでに縮小されたのか、昔は「程度副詞」の用法もあって、今はもうなくなったのか、これを追求するために、本稿では、コーパスから抽出した動詞・助詞・形状詞などの共起情報に基づいてその意味用法を考察する。

Ⅲ. オノマトペのコロケーション研究

オノマトペには「ABAB」「ABり」「AっBり」「ABん」「ABっ」などの語形がある。語形に注目させる指導は重要ではあるが、やはり、当該語と共起する語を教えることが一段と重要であるのは、他の一般語の場合と同じである(玉村1989: p4-9)。オノマトペの指導方法などの先行研究があるが、コーパスを利用してそのコロケーションを体系的に整理し分析する研究は管見の限り、まだ見あたらぬ。本稿では視点を変え、「すっきり」

を一例としてそのコロケーション分析を通して、その意味用法を考察する。

3.1 先行研究

オノマトベが副詞的修飾成分として、どんな語と共起するか、後続する語との関係はどんなものであるか、つまりコロケーションについての研究が多々ある。中でとても注目されるのは田守・スコウラップ (1999), 田守 (2002), 仁田 (2002), 笈 (2001) である。まず、田守・スコウラップ (1999) では、結果副詞は状態を変えられる起動動詞とのみ組み合わせ、その動詞によって新しい結果が生まれる、つまり変化したあとの状態を表す。田守 (2002) では程度副詞はいずれも状態の変化を表す語にかかって、その状態の程度を描写する。頻度副詞は動きそのものの実現のされ方ではなく、実現された回数的なあり方を表していると述べている。さらに、仁田 (2002) は命題の内部で働く副詞的修飾成分について、動詞文を中心に、様々に下位類化されうること示し、その意味や統語的な機能を、文の意味・統語構造と関連させながら、分析・記述が行われたのである。

一方、笈 (2001: p 28-36) では日本語におけるオノマトベ (X) と動詞 (Y) との関係を次の3種類に分類している。

(1) 相互依存 (Interdependence) $X \Leftrightarrow Y$

例1 につこり ほほえむ

「につこり」の後で自然に用いられる動詞は通常「微笑む」であり、逆に「微笑む」はその前に「につこり」を自然に想起させる。ここでは「につこり(する)」と「ほほえむ」は相互に独立していて、いずれか一方だけでも「につこり ほほえむ」の全体とほぼ同じ意味を表す。

(2) 一方依存 (Determination) $X \Rightarrow Y$

例2 につこり わらう

「わらう」は「につこり」や「にやにや」や「ゲラゲラ」などいくつものオノマト

ベによって限定される可能性があり、ここではその中の「につこり」によって限定されている。つまり「につこり」であれば必然的に「わらう」につながるが、逆は成り立たない。

(3) 相互無依存 (Constellation) X / Y

例3 ゆっくり あるく

この「ゆっくり」と「あるく」は、この結びつき以外にもお互いがそれぞれより広範囲な他の結びつきを許す。つまり「ゆっくり」は「歩く」の他にも「運転する」、「食べる」、「話す」などの様々な表現と結びつくことが可能である。

上記の研究と違う本研究の特徴は、①実質語に注目すること、②本研究はコーパスを使い、実際の頻度を重視することである。

3.2 調査方法

本稿は『中納言』⁽⁴⁾を利用して、「すっきり」のコロケーションを収集する。短単位検索(場合によって長単位検索)を利用して、まず、前方共起条件を追加し、「キー」から「1語」と、「語彙素」が「すっきり」となるように設定する。キーの部分「品詞」の「大分類」が「助詞」となるように設定する。次に、この形で検索を行ない、ファイルをダウンロードする。同様に、キーの品詞を「名詞」「動詞」「形容詞」「助動詞」にしてダウンロードを行う。

3.3 調査結果の概要

調査の結果、「すっきり」は「動詞」「形容詞」「形状詞」「助詞」「助動詞」「副詞」「補助記号」との共起が見られる。その後接情報が下記のように得られる。

+ 動詞 (90語, 233例)

+ 形容詞 (10語, 11例)

+ 形状詞 (13語, 25例)

+ 助詞 (7語, 365例)

+ 助動詞 (3語, 20例)

+ 副詞 (10語, 15例)

+ 補記記号 (16種類, 129例)

この結果から明らかのように、「すっきり」と共起関係が強いのは「動詞」で、その次は「補記記号」で、つまり後続省略も多いということが分かった。これは曹 (2010, 2011) においてその省略形式と原因を考察した。考察の結果を要約すると、統語論的に後続要素の省略形式を語尾「だ」「する」の省略、限定される後続動詞の省略と擬態語の前節と関係している動詞の省略に纏められる。その省略原因に関しては、一つ目は擬態語と後続要素がセットになっている、これは先行研究の田守 (1999) の「限定関係にある」と一致している。二つ目は擬態語そのものには後続動詞の意味合いが含まれている。三つ目は前接とセットとなっている結びつくべき動詞である、という考察があるため、本稿では考察対象からはずすこととする。

IV. 調査結果の詳細

ここでは、それぞれ品詞ごとに、どのような語がどのような用法で多く使われているのかを細かく分析していく。

4.1 「すっきり」+ 動詞

「すっきり」と直接組み合わせる動詞には「見える」が一番多く15%に達している。そのほか、5例以上の動詞には「見せる」「目覚める」「纏める」「晴れる」「できる」「片付

く」「する」「起きる」「収まる」がある。詳細は表1のようになる。以上の動詞と文法的にどのように組み合わせているかを見るために、その「活用形」から検討したい。具体は表2のとおりである。

4.2 「すっきり」+ 「形状詞」

ここでの「形状詞」はいわゆる「ナ形容詞」である。詳細は表3のようになっている。

4.3 「すっきり」+ 形容詞

「すっきり」には後続する形容詞も一つのパターンとして検索できた。詳しくは表4の

表1 「すっきり」と共起する動詞

語	出現数	語	出現数	語	出現数
見える	35	落とせる	2	取る	1
見せる	22	起きれる	2	溶け込む	1
目覚める	11	使う	2	勝つ	1
纏める	9	仕上がる	2	仕上げる	1
晴れる	7	洗える	2	事故死する	1
出来る	6	終われる	2	受ける	1
片付く	6	てきばきする	1	瘦せる	1
する	5	把握出来る	1	熟せる	1
起きる	5	成る	1	送る	1
収まる	5	出せる	1	眺望出来る	1
晴れ渡る	4	出る	1	禿げ上がる	1
取れる	4	払拭する	1	忘れる	1
収める	4	負ける	1	洗い上がる	1
整理する	4	感じる	1	洗い上げる	1
纏まる	3	割り切れる	1	言い切れる	1
落ち着く	3	過ごせる	1	迎える	1
暮らす	3	行く	1	御掃除する	1
伸びる	3	冴える	1	楽しむ	1
収納出来る	3	冴え渡る	1	着る	1
説明出来る	3	見れる	1	着れる	1
引き締まる	3	見渡せる	1	着熟す	1
着熟せる	3	解決する	1	整備する	1
さっぱりする	2	居る	1	整理整頓出来る	1
別れる	2	決まる	1	直る	1
澄む	2	覚める	1	致す	1
分かる	2	来る	1	終わる	1
割り切る	2	理解する	1	住み熟す	1
見る	2	立ち直る	1	自殺する	1
解消する	2	落とす	1	切り替わる	1
落ちる	2	乾く	1	晴れ上がる	1

表2 後続する動詞の活用形

活用形	出現数	後続要素	例
連用形	一般	て, た, ます	～出せてくれる, ～理解したい, ～過ごせます
	促音便	て, た	～割り切っている, ～冴え割ったから
	イ音便	て	～片付いている
	撥音便	て	～澄んでいる
連体形	一般	体言, 形式体言	～(よう, の, こと, ため, はず,); ～(コソ, センス, 人,)
	撥音便	の	～終われんのか
未然形	一般	ない, (ら)れる, (さ)せる	～溶け込まれる, ～見せられない, ～目覚めない
	サ	される, させる	～整理された, ～事故死なさせ
終止形	一般	ぞ, か, かな, らしい, し, と, には	～見えると, ～見せるには, ～まとまる
意志推量形	2	(よ)う	～自殺しよう, ～起きよう
仮定形	一般	ば	～着こなせば

とおりである。

表3 「すっきり」に後続する形状詞

語	出現数	語	出現数
爽やか	7	涼し気	1
奇麗	6	活発	1
シンプル	2	ハッピー	1
御嬢様風	1	スマート	1
上品	1	クリア	1
強制的	1	オリジナル	1
明快	1		

表4 「すっきり」に後続する形容詞

語	出現数	語	出現数
良い	2	黒い	1
長い	1	見易い	1
春らしい	1	美しい	1
甘い	1	美味しい	1
広い	1	小さい	1

4.4 「すっきり」+助詞

「すっきり」と共起するものには「助詞」も入っている。それは表5となっている。そのうち、「と」が大多数を占め、95.07%に達している。「すっきりと」に後続動詞は下記の表6のとおりである。

表5 「すっきり」に後続する助詞

助詞	出現数
と	347
の	7
は	5
って	2
に	2
が	1
を	1

表6 「すっきりと」に後続する動詞

後続する動詞	出現数	後続する動詞	出現数	後続する動詞	出現数
する	157	直す	2	浮き立つ	1
見せる	10	洗い流す	1	割り切る	1
纏める	7	抜ける	1	過ごす	1
目覚める	6	保つ	1	和らぐ	1
晴れる	5	別れる	1	解き明かす	1
起きる	4	並ぶ	1	立つ	1
着る	4	纏め上げる	1	埋め込む	1
纏まる	3	出掛ける	1	描く	1
成る	3	出来る	1	片付く	1
見える	3	吹っ切れる	1	切り離す	1
暮らす	3	促す	1	寝る	1
伸びる	3	読む	1	晴れ上がる	1
仕上げる	2	断ち切る	1	取り付ける	1
飲む	2	分かる	1	痩せる	1
整える	2	剃る	1	言う	1

4.5 「すっきり」+助動詞

「すっきり」と共起するものからそのもう一つの特徴が見られる。それは「ナ形容詞」

的特徴である。詳細は表7のようである。

表7 「すっきり」と共起する助動詞

助動詞	出現数
です	14
だ	5

V. 考察

5.1 「すっきりする」について

表1で表れたように、「すっきりする」はわずか5例で、全体の2.15%占めている。しかし、中高級レベルの学習者を対象にアンケート調査を行った結果、100%近くの人が「すっきり」を話す（書く）と、その後に必ず「する」を使う」という答えだった。それはおそらく辞書の影響を受けているためであろう。辞書を二冊ぐらい覗いてみよう。

まず、『日中辞典』では、意味1の「気分が」「気がかりなく」、「すっきりした気持ち」「心はすっきりしている」「寝不足で頭がすっきりしない」という例文と、意味2の「むだがなくて」、「すっきりしたスタイル」という例文が取り上げられた。勿論、ほかの例文もあるが、この「すっきりする」が三分の二を占めている。

一方、『現代』では、「無駄なものや余計なものがなくなって爽快である様子を表わす」と解釈して、12の例文の中で、「すっきりする」が九つ入っている。「する」が付いて述語になるのは六つで（例：胃薬を飲んだらげっぷが出てすっきりした、その机はよけいな飾りがなくすっきりしている。）、「しない」と「した」が付いて名詞にかかる修飾語になるのは三つである（例：交渉はすっきりしない結末となった、すっきりしたおいしさのビールです）。

辞書には「すっきりする」がかなり入っているのは確かである。そのため、もっと深入りする必要があると思われる。「すっきりする」には「すっきりする」のほかに、「すっきりした」、「すっきりしている」などのテン

ス・アスペクト的な意味用法もあるため、その区別を考えなければならない。

影山 (1993) では「頭がズキズキする」のようなオノマトベに「する」が付いた表現は「句」であって、語にはなっていないと述べている。「すっきりする」は「サ変動詞」と言っても、やはり「勉強する」や「見学する」と違う。後者が「勉強さえすれば」というような活用ができるのに対して、前者が「すっきりさえすれば」とは言えない。そのため、「すっきり」は「する」によって一つの句として活用する。影山 (2005) は「LCSの中身からすると、日本語では少なくとも3つの「する」が認められる。」と述べ、それは

1. 本動詞としての「する」: それだけで一人前のLCSを持つ。
2. 軽動詞としての「する」: LCSは実質的に空である。
3. 擬態語動詞 (合成述語) としての「する」: 上位事象を表すLCS鑄型だけを持つ。

となると、「すっきり」は意味を表す述語で、「する」はその補部をなしていると理解してよからう。この二語が合成することによって、つまり、「すっきり」が持つ意味は「する」の変形によってそれぞれ表徴できるようになる。

鷺見 (1996: p97-119) は「擬音語・擬態語+する」動詞を分類し、その多様性を顕在化させるとともに、「わくわくする」同様「ル形およびテイル形で現在の状態を表す」動詞を抽出した。その分類⁽⁵⁾には〈動作性〉〈変化〉〈非性質表現化〉動詞という一類があって、「すっきりする」がその中の一語である。「すっきりする」は感覚的・心理的な変化を表わす。タ形で発話時の心的状態を表わすことができる。「だんだんすっきりしてくる」とも「すっきりした瞬間」とも言え、変化が徐々に起こる場合も瞬間的に起こる場合も考えられる。』。

一方、山岡・大塚 (2009: p124-134) は「擬態語する」という感情動詞を文機能論的に「感情表出動詞」「感情変化動詞」「感情描写動詞」に3分類し、意味特徴的に「思考」「情意」「感覚」「知覚」に4分類した。「すっきりする」は「情意変化動詞」の語彙に入っているが、詳しく取り上げられていない。その「5 テンスとアスペクト」に同じく「情意変化動詞」である「がっかりする」が考察の対象となっている。具体例は下記のように取り上げられている。

ああ、ガッカリする。／ああ、ガッカリした(現在)。／結果を聞けばきくとガッカリする (未来)。／試験の結果を聞いてガッカリしている (結果)。

そして、表も作られている。「がっかりする」は「ル形」で「未来」,「テイル形」で「結果」を表わすと記している。「すっきりする」はどうなるか、「がっかりする」と同じであろうか。

それを究明するために、コーパスの用例に辞書から収集した用例を加えて、その意味用法を検討することとする。(1) ~ (5) はコーパスの用例であり、(6) は辞書の用例である。(1) は「こと (は) ない」を付加して、(2) や (3) と同じように打消しを伴って完全に解決されないという意味、(4) は余計な物が付いておらず、整備されているという意味、(5) は整備されていて美しいという意味である。形態上、(4) は「すっきりする」で、「アルバムにはった」その時に終わった動作に伴って気持ちの変化がその時点から発生していると理解してよからう。そうすると「すっきりする」は「未来」ではなく、「現在」を表わすことになる。また、(6) も「と」という接続助詞が前接すると、二つの意味が考えられる。1つは「同時、または後続して起こる動作を導く」、この場合、導かれた動作は通常「瞬間動詞」で、「た」形でその動作のテンスを表わす。例えば、「火事と聞く

と、飛び起きた」「夜になると、雨が降り出した」。もう1つは「一般に成立する条件関係を示す」、この場合、後に来る動詞は「状態性」を帯びる「自動詞」である。例えば、「年を取ると、記憶が鈍る」「梅雨時になると、かびが生える」。この2つの用法の中で、(6)はもっと後者の用法に近い。前者の用法で用いられると、「熱いシャワーを浴びると、頭がすっきりした」となるだろう。さらに、辞書やオノマトペ関係の著書などを調べたところ、(4)のような用例を採集できなく、おそらく(4)のような用法がごく稀で、個人の習慣などによるものもあるだろう。それを検索すると同時に、「yahoo」のウェブからもっとたくさんの連体修飾用例を収集した。例えば、「すっきりする(画像・映像・方法・話)など。

一方、(5)の「テイル形」は「すっきりした」その結果が継続されていると考えられる。

- (1) 出なかったかな…飲む量が少なかったからかな…すっきりすることないまま夕方の回診。(Yahoo!ブログ『Yahoo!』2008)
- (2) ただ天気がぱっとしません。今日もちょっと雨模様です。すっきりしない日が続くので、体調も下降気味。(Yahoo!ブログ『Yahoo!』2008)
- (3) ただ熱が冷めたただけならば、それ以上傷つけたいとは思わないからです。すっきりしない気持はわかりますが。(Yahoo!知恵袋『Yahoo!』2005)
- (4) その日は写し込みなしにすると、アルバムにはったときすっきりします。(森村進『女性のためのオートカメラ自由自在』毎日新聞社1989)
- (5) 九州観光推進機構がつくった七色のロゴマークは、すっきりしていてよく、各県が連携して使えば、自然にイメージも生まれる。(『西日本新聞』西日本新聞社2005)

- (6) 熱いシャワーを浴びると頭がすっきりする。(『現代』)

以上を要約すると、「すっきりする」は「スル形」で「未来」を、「タ形」で「現在」、「テイル形」で「結果」を表わすと考えられる。

5.2 「すっきり+形状詞」について

「すっきり」は上記の「形状詞」を修飾するか否か、(7)～(9)を見てみよう。(7)～(9)の「すっきり」はいったい後続する「形状詞」を修飾するか、それとも「形状詞」に続く「名詞」を修飾するか、これについては、II.で触れた『暮らしの言葉』の『参考』をもとに考えなければならない。(7)の「すっきり」は「まったく」という意味で、「まったく爽やかな味わい」と言い換えられる。(8)の「すっきり」は「すっきり」という意味で、「すっきりきれいに収まっている」と言えるだろう。(9)の「すっきり」は「まったく」という意味合いで「まったくオリジナルの浴室」と理解できるだろう。つまり、「すっきり」は「形状詞」を修飾して、「副詞」の役割を果たしていると思われる。

- (7) 人気シリーズ「冷たいスープ」に、じゃがいも、かぼちゃ、えんどう豆に加えてトマトが新登場。すっきり爽やかな味わいで、これからの季節にぴったり。(実著者不明『横浜びあ』びあ2003)
- (8) 持てるものを買うようにしています」モノが少ないわけではないのに、すっきりきれいに収まっているのは、そんな性格ゆえ。無駄なく、美しく、合理的な収納なのである。(実著者不明『クロワッサンマ』ガジンハウス2002)
- (9) ブラインドも柳瀬さんがメーカーから直に仕入れましたPOINT C既製品を使わず、すっきりオリジナルの浴室「既製品はイヤ」というご主人の希望をくんで、洗面、浴室はオリジナル(実著

者不明『新しい住まいの設計』扶桑社
2001)

5.3 「すっきり+形容詞」について

「すっきり」は「形容詞」を修飾しうるか、(10)～(12)で考えよう。(10)は「甘い」を修飾する副詞には「とても」「かなり」「非常に」などの「程度副詞」が挙げられる。(10)の文脈から見ると、「比較」のニュアンスを伴って、「かなり甘い」と考えてもっとふさわしいだろう。(11)も「今よりもっと長くする」という意味で、「程度」を表わす「かなり」と置き換えればいように思える。(12)は「見やすくなる」という「変化」の「程度」を表わすため、「かなりみやすくなる」のほうがその「変化」を強調することができる。そうすると、「すっきり」は「形容詞」を修飾するとき「程度副詞」に変身すると考えられる。

- (10) スパイシーじゃない感じ(難)ライトブルーは嫌味のない香りで癒されますよ～♪すっきり甘いです。青林檎みたいな感じかな?? グリーンティも良いと思います。(Yahoo!知恵袋Yahoo! 2005)
- (11) かんじが好きじゃありません。どうやったらのびますか??? 首をすっきり長くする(長くみせるのかな)って体操ありますよ。(Yahoo!知恵袋Yahoo! 2005)
- (12) 最後の文字からグループ化を行います。名前をつける作業は面倒ですが、すっきり見やすくなります。(鷹野雅弘『Adobe LiveMotionのアイデア箱』エスシーシー2001)

5.4 「すっきり+助詞」について

「すっきり+助詞」は(13)～(18)から考えてみよう。(13)はもともと「すっきりしていない」で、その間に「は」が入って、

「強調」の役割が果たされる。(14)の「求めているもの」は「本」で、ここの「を」の対象が「すっきり」する本である。(15)は「足首がすっきり見える」の意味で、前にも出た言葉のため、省略しても意味が通じるからであろう。(16)は「目覚めがすっきりするということはなかなか難しい」という意味を表わしただろう。(17)のような「すっきりになる」がわずか2例で、やはり「すっきり」の普及された用法とは言えない。ここでは、むしろ「寝起きがすっきりするという状態になる」と理解しても無理がない。(18)は「今日は快腸だった」、つまり「すっきりした」、明日も今日と同じようになればと心の中でそれを「すっきり」に託していると考えられる。

- (13) おおまかに言えば、棲み分けがなされているのですが、細かく見てみると、そうすっきりはしていないのです。フロイトはこのたとえ話によって、超自我・自我・エスが三つの国のように(鈴木晶『精神分析入門』を読む)日本放送出版協会2000)
- (14) 私の読書は、どちらかというと、すっきりを求めてのものが多い。いちばんいいのは、すっきりした頭で存分に読書(鷺田小彌太『定年と読書』文芸社2002)
- (15) この夏のマスト十二足首がすっきり見えるマニックスのサブリナは夏パンツの実力派サブリナパンツ足首すっきりのサブリナパンツはこの夏も主役。(実著者不明『JJ』光文社2002)
- (16) 夢は一瞬でも見ます。十分で熟睡して目覚めすっきりってなかなか難しいのでは(Yahoo!知恵袋Yahoo! 2005)
- (17) ノンレム睡眠の時間帯に目覚めれば寝起きスッキリになるはずです。(Yahoo!知恵袋Yahoo! 2005)

- (18) 快腸だったんだけど、漬物のおかげかな？って思ったり。…明日もすっきりがいいね。風呂上り。ヨーグルト。チチヤス愛。スイカは5, 6切れ食ってしまった。(Yahoo! ブログ Yahoo! 2008)

一方、「と」が後続すると、必ず「動詞」がその後に続く。いったい、どういう動詞がくっつくだろう。表6で分かるように、「する」が過半数を超え、64.08%にも達している。

そのうち、「した」が114例で、その次、「して」29例、「しない」5例、「させる」4例、「する」3例、「します」2例となっている。具体例は(19)～(24)のようになっている。(19)と(20)のように、「した」は文末に用いられる3例を除いて、ほかは全部連体修飾語として「体言」(例：味わい、顔、喉越し、画像など)と「様態助動詞」(例：ようだ)と組み合わせていると見られる。

- (19) 台と一緒に押入れの中にしまってしまうと、僕の頭はいくぶんすっきりとしたようだった。水を飲もうと思って台所に行きかけたところで、(村上春樹『ねじまき鳥クロニクル』新潮社1994)
- (20) 人肌の爛酒をじっくりなんて実に日本的な飲み方にはやや辛口ですすっきりとした飲み口で爛をすれば引き立つうま味を持つこんなタイプが最も適している。(福田稔『びあ日本酒style book』びあ2001)
- (21) 一晚中眠ることができなかったのですが、今はすっきりとしています。シロダーラ中ほとんど寝ていたことでもあります。眠気もあまり(蓮村奮『ファンタスティック・アーユルヴェーダ』知玄舎;星雲社(発売)2002)
- (22) きょうの御質問、御答弁を聞いておりましても、おいおいすっきりとし

ないという形、というのは、皆さんが公聴会でお述べになっ(『国会会議録』第094回国会1981)

- (23) 下のラインが、むくみ気味で少し気になります。この部分をすっきりとさせる、良いダイエット法はないでしょうか？(Yahoo!知恵袋Yahoo! 2005)
- (24) 富士通テンの『イクリプス』である。操作盤を畳めばすっきりとする上、開いた時は運転席から見やすく、ボタンも大きいため、非常に楽(中沢雄二『サライ』小学館2005)

5.5 「すっきり+助動詞」について

「すっきり」には助動詞がつく場合もある。(25)と(26)は「だ」で、(27)は「だ」の連体形の「な」で、(28)は「だという」に置き換えられる。(27)は助動詞「だ」の「連体形」と考えられるが、「ナ形容詞」の特徴と似ていると言っても過言ではない。「きれいだ」→「きれいだった」、「きれいな」、「きれいです」、「きれいになる」。全部当てはまる。「すっきりだ」→「すっきりだった」、「すっきりな」、「すっきりです」、「すっきりになる」(表5を参照)。こうなると、「すっきり」は「ナ形容詞」のすべての活用形を持ち、「ナ形容詞」のように振舞う一面があると考えられる。

- (25) 美容業界でもファンが多い。鎮静効果に優れ、「泣きはらした翌朝も、目もとすっきりだったのには驚き！」(『marie Claire Japon』(マリ・クレール日本版)アシェット婦人画報社2002)
- (26) …は含有量が色々有るので自分に合った物が見つかれば朝はすっきりです。(『Yahoo!知恵袋』Yahoo!2005)
- (27) …には、たまらない感じですね(笑) 麺は細チヂレ麺。しゃきり、すっ

きりな味です!このスープの風味
(Yahoo!ブログYahoo! 2008)

- (28) 機器の背面で専用のシステムケーブルでスッキリるのが良いのだけれど。(『Yahoo!知恵袋』Yahoo! 2005)

VI. おわりに

以上を踏まえて、大体以下のように纏められる。

- (29)「スッキリ」と共起するものうち、「動詞」が一番多く、その次は「助詞」、「形状詞」、「副詞」、「形容詞」、「助動詞」という順である。
- (30)「スッキリ」と直接組み合わせる動詞には「見える」が一番多く、15%に達している。そのほか、5例以上の動詞には「見せる」「目覚める」「纏める」「晴れる」「できる」「片付く」「する」「起きる」「収まる」がある。
- (31)「スッキリする」は「スル形」で「未来」、「タ形」で「現在」、「テイル形」で「結果」を表わすと考えられる。
- (32)「スッキリ」は「形状詞」を修飾して、「副詞」の役割を果たして、「すっきり」「まったく」の意味に当たる。
- (33)「スッキリ」は「形容詞」を修飾すると、「程度副詞」に変身して、「かなり」と置き換えられる。
- (34)「スッキリ」と共起する「助詞」には「と」が大多数を占め、95.07%に達している。
- (35)「スッキリと」と共起する動詞の中、「する」が過半数を超え、64.08%にも達している。そのうち、「した」が114例で、文末に用いられる3例を除いて、ほかは全部連体修飾語として「体言」と「様態助動詞」と組み合わせるのが特徴である。
- (36)「スッキリ」は「ナ形容詞」のすべ

ての活用形を持ち、「ナ形容詞」のように振舞う一面があると考えられる。

「スッキリ」に関しては、コロケーションの採集はもう完了だが、意味分析は、今後さらに考察すべきだと考えているため、「ABAB」型、「ABり」型などのコロケーション採集と意味分析を含めて今後の課題としたい。

〔注〕

- (1) 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所が構築した現代日本語のコーパスである『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese, 略称 BCCWJ) のことである。筆者は本コーパスと使用許諾契約を締結したことで、収録された約1億語の書籍、雑誌、新聞、白書、教科書、広報紙、Webの掲示板、ブログなど多様な日本語を検索できる。
- (2) 大連外国語大学日本語学院の二年生のことを指す。
- (3) 田守(1993)は擬音語・擬態語を様態副詞、結果副詞、程度副詞、頻度副詞に四分類された。
- (4) 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』のオンラインで検索するツールである。
- (5) 〈動作性状態〉〈変化〉〈非性質表現化〉動詞(例: いらいらする, はらはらするなどの14語), 〈動作性〉〈継続〉〈非性質表現化〉動詞(例: うろろするなどの4語といじいじするなどの43語), 〈動作性〉〈継続〉〈性質表現化〉動詞(例: ふらふらする, ぼーっとする, のんびりする3語), 〈動作性〉〈変化〉〈非性質表現化〉動詞(継続動詞の例: あっぶあっぶする, ほろっとするなどの4語, 瞬間動詞の例: ばたばたする, うんざりするなどの18語, 変化動詞の例: さっぱりするなどの6語, がやがやするなどの4語, うっとりするなどの7語), 〈動作性〉〈変化〉〈性質表現化〉動詞(例: つんつんする, むっつりするなどの8語), 〈動作性〉〈瞬間〉〈非性質表現化〉動詞(例: ぎくっとする, ぼかんとするなどの14語), 〈動作性形容詞的状态〉〈変化〉〈非性質表現化〉動詞(例: びんぴんする, よぼよぼする2語), 〈動作性形

容詞の状態)〈変化〉(性質表現化)動詞(例:はっきりする, しゃんとするなどの16語), 〈形容詞の状態〉(非性質表現化)動詞(例:うじゃうじゃしている, けばけばしているなどの8語), 〈形容詞の状態〉(性質表現化)動詞(例:あっさりしている, さばさばしているなどの21語)と, 分類されている。

参考文献

- 阿刀田稔子, 星野和子 (1995) 『擬音語・擬態語 使い方辞典: 正しい意味と用法がすぐわかる』 創拓社
- 天沼寧編 (1974) 『擬音語・擬態語辞典』 東京堂出版
- 小野正弘 (2007) 『日本語オノマトベ辞典』 小学館
- 笈 壽雄 (2001) 「「変身」するオノマトベ」『言語』30 (9) 大修館書店
- 影山太郎・由本陽子 (1997) 『語形成と概念構造』 研究社出版
- 影山太郎 (1993) 『文法と語形成』 ひつじ書房
- 影山太郎 (2005) 「擬態語動詞の語彙概念構造」第2回中日理論言語学研究会
- 鷲見幸美 (1996) 「「擬音語・擬態語+する」動詞分類」『名古屋大学人文科学研究』25
- 玉村文郎 (1989) 「日本語の音象徴語の特徴とその教育」『日本語教育』68, 日本語教育学会
- 田守育啓・ローレンス・スコウラップ (1999) 『オノマトベ: 形態と意味』 くろしお出版
- 田守育啓 (2002) 『オノマトベ 擬音・擬態語を楽しむ』 岩波書店
- 寺村秀夫 (1982) 『日本語のシンタクスと意味』(Ⅱ) くろしお出版
- 独立行政法人国立国語研究所 (2006) 「現代雑誌 200万字言語調査語彙表 公開版」
<http://www2.kokken.go.jp/goityosa/index.html>
- 独立行政法人国立国語研究所編集 (2004) 『分類語彙表 増補改訂版』 大日本図書株式会社
- 仁田義雄 (2002) 『副詞的表現の諸相』 くろしお出版
- 飛田良文・浅田秀子 (2002) 『現代擬音語擬態語用法辞典』 東京堂出版
- 山岡政紀・大塚望 (2009) 「「擬態語する」の語彙と文法的機能」『日語動詞及相关研究』 外语教学与研究出版社
- 山口仲美 (2003) 『暮らしのことば 擬音・擬態語辞典』 講談社

- 曹金波 (2008) 『標準日語拟声词拟态词』(『標準日本語擬音語・擬態語』) 大连理工大学出版社
- 曹金波 (2009) “从「堂々素肌へ」看日語拟态词后置词的使用现状”(「「堂々素肌へ」から見る日本語擬態語後続の使用現状)《日語学习与研究》第三期
- 曹金波 (2010) “「AっBり」型日語拟态词后续部分省略研究”(「「AっBり」型日本語擬態語の後続省略研究)《日語学习与研究》第三期
- 曹金波 (2011) “日語拟声拟态词后续省略研究—以用于句尾的「ABAB」型为例”(「日本語擬音・擬態語の後続省略研究—文末に用いられる「ABAB」型を例に一)《外语与外语教学》第一期

